

**2013年(第15回)全国中高等学生日本語学力競試大会
＜2次大会(スピーチコンテスト)発表原稿＞**

中等部 8名 / 高等部 13名

社団法人 韓日協会

夢に向かって走る

中等部 강나영 (姜羅英, Gang Na Yeong)

こんにちは。私は済州西中学校2年生のカンナヨンと申します。私は今日、日本語と私の夢について話したいと思います。

私は小学校5年生の時から日本語を習い始めました。その理由の一つは漢字が大好きで漢字を使う外国語が勉強したかったからです。そして、もう一つは日本語を勉強していた姉の影響で日本語を習うようになりました。

中学生になってからは日本のアニメをたくさん見えています。ある日、日本語の授業中に先生の説明してくれた日本の文化と単語の語源についての話を聞き、アニメで見た内容が後から理解できるようになりました。それをきっかけに、授業に集中して聞くようになりました。

そして、もっと日本語に関心を持って真剣に学ぶようになり、今は夢が一つできました。それは日本語の通訳になることです。

日本語を聞いて韓国語に通訳したり、韓国語を聞いて日本語に通訳することです。詳しく言えば、国際会議で通訳する仕事がしたいです。日本語の勉強がとてもおもしろくて、このようなしっかりした夢を持つことも初めてなので、この夢が叶うためにあきらめずに努力し続け、必ず通訳になって見せます。

人々は日本語が韓国語と言葉を並べる順番が同じで習いやすいと言いますが、日本語は決してやさしくありません。私にとっても日本語は難しいですが、それ以上に日本語を習うことがおもしろいです。日本語を習えば、日本人と話せます。そして日本語が聞き取れた時、日本語を習ったかきを感じます。高校進学について悩む私に具体的ではっきりした夢を持たせてくれたのは日本語です。

たとえ人々が「これから日本語はビジョンがないから中国語や英語にしたら」と言っても、私の考えは違います。日本は韓国より経済力があり、技術も優れています。今後、日本はもっと発展する可能性も大きく、日本語を使う機会ももっと多くなると思います。

最後に、日本語を習いながら心から願うことがあります。それは、日本と韓国がお互いの良くない感情を捨て、交流を通じて助け合うことです。日本語を習っている皆さん、私たちが日本語を習うことで、わが国韓国と日本との友好の架け橋になろうではないですか。日本語を勉強し、日本にもっと関心を持っていけば、私たちの未来は変わると思います。私はこれからも日本語を楽しく勉強し、日本と韓国のよい未来のために、そして夢のために走っていきたいです。

ありがとうございました。

印象深い国、日本

中等部 김지우 (金志優, Kim Ji Woo)

皆さん、こんにちは。わたしは狎鷗亭中学校三年生、金志優です。私は先月韓日中高生訪日研修に韓国の代表として参加し、日本の中学校を訪問したり日本の有名な文化遺跡を訪れたりしました。私はこの研修を通して日本の文化への知識を深めることができました。さらに日本の節約精神や順法精神そして外国人への優しさなどを感じて、日本は学ぶべきところが多い国だと思いました。そして私は今日皆さんに、私が感じた日本や日本人についてお話したいと思います。

日本に行く前には日本は韓国を侵略して韓国人をなぶりごろしにした国だと悪いイメージがあって、あまり優しくしたくない国だと思いました。しかし、私の考えは日本に到着して変わり始めました。まず、日本人はとても親切で礼儀正しいです。たとえば、わたしが日本の中学校を訪問したとき、日本人の学生たちは私に、'長い旅に疲れてないか'、'蒸し暑い天気体に体の調子はだいじょうぶか'、'日本にきて不便なところはないか'といろいろ聞いてくれました。新しい環境に少し緊張していた私はその細心な配慮にとっても関心し、すぐ彼らとなれなれしくなったのです。そしてどこへ行っても挨拶してくれて何かを聞いても親切に答えてくれました。私が公衆電話はどこにありますかと聞いたとき笑いながら新設に公衆電話の位置を教えてくださいました。

また驚いたのは日本人の節約精神でした。日本の建物や車などは韓国のそれに比べだいたい古い者でした。でもむさくるしいのではなく、磨いてつやを出したのようにとてもきれいでした。

最後に日本人は人に迷惑をかけませんでした。どこへ行っても日本人はいつも静かでした。韓国とは違って日本は街やコンビニにでも静かにして大きな声を出せば他人に被害を与えないかといつも対話をするときも小さな声で話しました。そして私がまた驚いたのは日本人の順法精神です。日本に行ったとき、どこに行っても見られるのは人の例でした。日本人は例をつくるのが大好きなようです。コンビニに行ってもラーメン屋に行ってもだれも割り込みもなく、おとなしく順番を待っていたのです。

わたしはこんな日本人の親切さ、節約精神、順法精神に感動を受けていままで日本の良くないところだけを見ていた私が恥ずかしく感じられました。日本にただの7日いたとして日本のすべてのことがわかることには難しいが、少なくとも日本に対する否定的な考えを肯定的に変えることができよかったですと思います。わたしは今からでも韓国と日本が仲良く過ごしたらいいなと思います。ありがとうございました。

私の大切な人たち

中等部 최지희 (崔志僖, Choi Ji Hee)

みなさん、こんにちは。私はチョンイル中学校三年生のチェ・ジヒと申します。

今日は私の大切な人たちについて話したいと思います。私の周りには自分にとって、とても大切な人たちがいます。母、父、姉、先生そして友だち。私はこの人たちに沢山助けられてきました。その助けがなかったら今私がこの場に立っていることも出来なかったのかも知れません。

私が最も感謝している人は両親です。私が生まれてきた時から今の私に成長するまでよく育ててくれたし、間違ったことがあったら厳しく叱ってくれたし、何より両親がいなかったら私がこの世に生まれてくることもなかったはず。そして今は当たり前だと思っているこんな平凡な生活すらできなかったはず。

私には5歳上の姉が一人います。姉は私の小さい頃からすごく可愛がってくれました。しかし、しきりに私にくっついてくる姉が面倒くさくて正直に言って嫌いでした。ところで姉が今大学生になって大学の寮に入ってから姉の不在が寂しく感じられました。その時気づきました。'あ、私はやっぱり姉ちゃんがいなきゃダメなんだな...' って。

私は今までいろんな先生方に教わってきました。その先生方は本当に一方も欠かさず立派な方々であり、尊敬できる方ばかりでした。私は小学生の時はずっとお喋りな子で沢山叱られました。その時はむかつくし学校に通いたくないって思ったこともあります。だが、今考えてみるとそんなに沢山叱られたから自分がゆがまずに真っ直ぐに成長出来たんじゃないかって思っています。

私は自分にそんなに多くの友達がいるとは思っていません。自分が信頼できる本当の友達はせいぜい10人ぐらいでしょうかね。でも私はその10人の友達に本当に感謝しています。なぜなら私はその友達に数えきれないほど助けられたからです。友達付き合いにあまり上手くない私に先に声をかけてくれたり、私が傷ついて涙が止まらない時も'きっと大丈夫'、'頑張れ'、'思い切り泣いてもいいよ'って励ましてくれました。退屈でつまらない学校生活も友達がいるから楽しく感じられます。

もし、私の周りにこの人たちがいなかったら散々迷ったり戸惑ったり躓いたままやり直せなかったと思います。だから私は皆にとっても感謝しています。いままでも、これからもずっと。こっちからは何もできず迷惑ばかりかけているのかも知れませんが、もっと皆の力になりたいです。

私はこう思っています。'世の中は一人では生きて行けない。他の人とお互い助け合いながら生きて行くものだ。'と。身近な所にいる人が自分にとってどれだけ大切なのかはその人がいなくなった時ようやく気づくものだと思います。

自分のそばにいた人がある日、突然消えてしまったとしたらどんな気分になると思いますか。

その人がいなくなった後ではもう遅いので、今その人が自分にとってどれだけ大切なのか考えてみたらどうでしょうか。

皆さんにとって一番大切な人は誰ですか。

知り合いより他人

中等部 이해민 (李惠旻, Lee Hye Min)

こんにちは。

私は 亀山中学校に通っている李惠旻と申します。

今日、皆様にお話したいことは現在早いスピードで拡散している大衆の文化、コミュニティーサイトのことです。

最近、スマートフォンの利用者と無線インターネットサービスが増加するに伴って、私達はいつでもインターネットに接続できるようになりました。また、コミュニティーサイトも発展しました。コミュニティーサイトでは相互に考えを交流し、話したり、笑ったり情報を交流する所です。考えてみれば、人々が一日のストレスを発散する休憩所のような所だと思われれます。この頃はコミュニティーサイトも多様化しました。各サイトごとに色がめっきり分けてあります。例えば、趣味に関する情報とか、好きな芸能人に関する情報を交換するところもあります。その反面。特定の人をけなすところもあります。

もちろん、これが悪いとはいいいかねます。すべての人には自分の考えがありますから。でも、自分と考えが同じ人には好意的であるが、異なる人にはものすごく攻撃的になり、自分の意見に合わない人には口にこめられないほどひどい言葉を使います。たとえば、相手の両親をののしるとか、女性を無視してセクハラ的な発言をするなど想像できないことが当たり前のように起こります。これをしないほうがむしろ、変人扱いされます。誰かをほめない、ころしそくに批判するなんて恥くないでしょうか。皆さん、ご存じですか。コミュニティーサイトの利用者 10-20 代です。20 代もそうですがこれからの国を導いていかなければならない未来の主役である 10 代は心配になりませんか。今の 10 代はこのようなコミュニティーサイトで人を批判することばかりを学んでゆがんでいくのです。また、肯定的な考え方の人ではなくて否定的な考え方の人として育てられます。

現代の社会は核家族です。それで、家族が集まって晩御飯を食べたり、テレビをみながら笑ったり、自分の悩みを相談したり、する機会が減っています。共稼ぎをして子供は塾で一日を過ごすのが普通の家族です。その中でも特に 10 代は所属感と安定感を求める時期です。でも、時間もないし、気楽に話せる友達もいないから、それが充足できるコミュニティーサイトに行きます。そこではすぐ返事をくれるし、私をほめてくれるし、現実のようにさびしくないから彼らにとってコミュニティーサイトはパラダイスではなからうかと思えます。どんなにひどいことをいってもコミュニティーサイトの人たちがかばってくれるから大丈夫だと錯覚します。その人たちは一度も会ったことのない他人であるのにそこまで頼れるかと私は思います。家族や学校の友達より他人が信頼できる寂しい時代がくるということです。それでこのきずをもって現実逃避をするひとあられるのです。これが他人事だと思う人もいます。自分の話ではないからかまわないと安心してはいけません。隣の人や家族の話ではないとは限りません。みなさん、いまにぎっているスマートフォンはおろして家族か友達に暖かいことばを一言でもいってみるのはどうですか。

ご聴講ありがとうございます。

「何かお手伝いしましょうか？」

中等部 文鐘赫 (文鐘赫, Mun Jong Hyeok)

こんにちは。木洞中学校の文鐘赫と申します。私は去年の夏、とても大切なボランティアを経験しました。それは、地下鉄明洞(ミョンドン)駅でそこを訪れた日本人の観光客を案内することでした。あの時まで、日本語を一人で勉強していましたが、このボランティアをきっかけに自分の日本語の実力がどれくらい向上したか確認してみたかったです。初めて活動に行った日、日本人と日本語で話さなければならぬと思うと、期待に胸がときめきながらも、足ががたがた震えるほど緊張しました。やがてチケット販売機でどうしたらいいか迷っている日本人を見つけました。私は勇気を出してあの人たちに近づき、「何かお手伝いしましょうか。」と声をかけました。「始まりがよければ半分成った。」ということわざのとおり、一度案内に成功したら、自信をもって手伝うことができるようになりました。しかし、すべての案内がうまくいったわけではありません。ちょっとしたミスで顔が真っ赤になるほど恥ずかしいこともたくさんありました。

ある日は景福宮(キョンボックン)へ行こうとする良い印象のおじさんとおばさんを案内することになりました。他の観光客のように、チケットの買い方がわからずにうろろろしていた二人を手伝うと、とてもありがとうございました。二人は私が学生だということに気づいたように、「もしかして、大学生？」と私に話をかけました。私が中学生だと言ったら、ずいぶん驚いたことはもちろんです。私がボランティアとして観光客に案内していると話したら、「日本語、上手だね。」と褒めてくれました。日本人に自分の実力を認めてもらえてさらに嬉しかったです。二人は広島からいらっしゃいましたが、日本で韓国のドラマを始めて見るようになった後、韓国語を長い間勉強するようになって、今回韓国語の練習も兼ねて始めて韓国に来たそうでした。別れの時、私は広島が九州にあると勘違いして、広島へ行きたいという意味で、「九州にも是非一度行ってみたいです。」と言いました。すると二人は驚いた顔で黙っていましたが、私のミスがわかったように、すぐ微笑んで日本にも有名なところがたくさんあるから是非一度来てみてくださいと言いました。後で何かあの言葉がずっと気になって調べてみたら、広島は本州にあることがわかりました。私は今までもあの時、愚かしいことを言ったのを思い浮かべると、恥ずかしくて堪らなくなってしまうのですが、あの方の暖かい心も一緒に思い浮かんでいつの間にか笑顔になったりします。

自分が根気を持って日本語の実力を磨き、このように韓国を訪れた日本人に少しでも役に立てたということに私は胸がいっぱいになりました。しかし、まだ足りないところもたくさんあるので、これからも日本語の勉強に頑張り続けようと決意を固めました。

ご清聴ありがとうございました。

旅行から悟ったこと

中等部 우왈식 (禹曰植, Woo Wal Sik)

始めまして

ジンジュから来た中学校3年生ウワルシクと申します。今日、私は一ヶ月前、家族と行った旅行のことを話しようと思います。私の家族は旅行が好きです。今までアプリカと米国と大阪などなど行ったことがあります。

今度は日本語勉強してから本当に行きたがった東京に行ってきました。

日本に着いてまず、横浜に行ってオリクスで活躍しているイデホ選手の試合をみました。2年前は韓国で応援したんですがしばらく見られなかったのが惜しかったです。直接日本に行って会えるようになってすごく懐かしかったです。

初めて日本の野球場を見て感じたのはとてもきれいでマナーある応援文化、特に相手チームに対する思いやりはうらやましかったです。ついでに山下公園にも行ってきました。美しい海辺にあったので海に沿って歩いてみました。ビルも多かったが公園もたくさんあるしあちこち森と庭があって真ん中の都市でもいつも自然との造化を大事にしているような気がしました。

夜は新宿の近くにある居酒屋に行ってみました。そこでは大勢のサラリマンがビールを飲みながら話をしていました。その様子は韓国と同じでなんだかみんな肩が重くみえました。ですが各々の夢を抱いて明日を生きるため、頑張っているのではないかと思いました。

私は父と話しながら焼き鳥を食べました。美味しかったですけど営業時間が早かったのでちょっとびっくりしました。ほどほど飲んで早く帰るのが印象的でした。酔っぱらっている人もいなかったし町もきれいでした。

次の日、江戸東京博物館にいきました。約400年間の昔の東京が見られました。入ったらすぐ実際サイズの日本橋がありました。また江戸時代の劇場もあって興味深かったです。全体的にとっても巧みかったです。江戸の実生活をみたり体験したりしてよかったです。

特別に記憶に残っている場面があります。江戸時代の消防官が火を消すため扇子をもって走っている姿は面白かったです。扇子は持ってみることができたので持ったら重すぎていまもその重さで笑いができます。最後は四日間私だちと一緒だった電車のことをいわずにはすまないと思います。

電車は行けないところはなかったかと思っただけで車は少なかったです。それで道がもっときれいだったかな。鉄道が発達していることは世界中の二酸化炭素の排出問題に積極的に対応できる長所でもあっているのですばらしいと思いがうらやましかったです。

私から見ると日本は安定しているし発展していると思われてこれからもっと仲よく交流してほしいです。私が思っている旅行はあの国に行ってあの国の人と文化を感じたり楽しんだりすることだと思います。今回の旅行は機会ができて日本野球もみだし、日本料理も食べたし、とても楽しかったですが一番大切なことは日本語の勉強を熱心にしようとのやる気ができたことです。

私の夢は機会ができれば日本で経済とか金融の勉強がしてみたいです。そのためでももっと地道に努力するべきだと決心しました。これからも日本との交流が活発になってアジアを導いてほしいです。

どうぞよろしくをお願いします。

友情を分かち合える機会

中等部 이태경 (李泰景, Lee Tae Gyeong)

皆さん、こんにちは。

私は忠北堤川奈吐中学校3年生の李泰景です。今日私は、友情を分かち合える機会について話したいと思います。

私は日本との日韓関係に強い関心を持っています。最近の韓国、日本両国の関係はとても難しい時期にさしかかっています。このように緊張している日韓関係において、政府より民間外交が何よりも重要だと思います。なぜなら、両国間の複雑で政治的な観点よりは、未来を担う青少年たちの文化交流が活発に行われれば、未来にはきっと新しい韓日関係を作っていくことができると信じているからです。

特に日韓交換学生交流は、もっとも多感な青少年の時期に様々な異文化体験を通じて、両国の文化の違いを理解するのに役に立つと思います。

その例として、私の経験談を紹介します。私が住んでいる堤川のある学校では、日本の兵庫県の県立加古川西高等学校と学生交流活動をおこなっています。私の故郷は小さな都市です。

しかし、歴史の教科書に必ず出てくる義林池のような文化財も多く、歴史的にも意義深い観光地として知られている都市でもあります。私はそのような故郷がとても誇らしいです。だから、多くの人々にその良さを伝えたいと思っていました。すると、そのころ私に日本語の通訳をしてみないかという話が舞い込んできました。それは、同年代で日本語を話すことができる私への先生からの勧誘でした。

その学生交流活動では、韓国の伝統的な布染め体験や伝統餅作り、そして私が住んでいる地元を案内する文化財探訪などで大きな成果をあげています。上手に通訳ができたかどうかはわかりませんが、韓日交流に少しは役に立てたと思います。

初めはすごく気まずくて、とても不安な気持ちもありましたが、だんだんと親しくなり、一緒に K-POP を歌い、韓国のドラマについて話し合うことで、同じ年頃の若者が感じる様々なことに共感することができました。この学生交流は、短い間の活動でしたが、韓国と日本の青少年たちが友情を分かち合える有意義な時間になったと思います。このような青少年の文化交流は世界へと視野を広げ、新たな文化に接することができる機会です。従って多くの青少年たちにこのような機会が与えられれば、未来の韓日関係はそれほど暗くはないと私は思います。

皆さんはどう思いますか。

今回は、韓日関係について私が経験したことをもとに私の考えを話してみました。私の考えに少しは共感していただけたでしょうか。

みなさんも時間があれば、私の故郷、堤川へぜひ遊びに来てください。私がいつでも案内します。

友情というものは、お互いが理解し、分かり合うことから始まるものだと思いました。

お互いを分かり合える機会が、韓日の青少年たちに与えられればいいと思います。

私のスピーチは以上です。ありがとうございました

韓流ブームから 10 年

中等部 김지우 (金志禹, Kim Ji Woo)

皆さんこんにちは。

私は木洞中学 3 年生キムジウと申します。

皆さんは韓流スター少女時代、ビッケバン、スーパージュニアは好きですか。

最近、韓流という言葉をよく耳にしますが皆さんはどうやって韓流という言葉が生まれたのか知っていますか。

韓流という言葉は 1996 年中国に輸出されたアンジェウク主演の「サランイモウギレ」というドラマが人気を得たことで中国側のメディアによって名付けられたものです。

韓流ブームが一つの社会現象にまでなるきっかけを作ったのは 2002 年度 NHK で放送されたドラマ「冬のソナタ」です。

今や台湾、東南アジアの色々な国と最近ではヨーロッパや南米まで K-P O P とドラマが人気を得ています。

そこで私は韓流ブームが私達にもたらしたものについて述べてみたいと思います。

まず、韓国に対する世界的認知度が高まったということです。かつてはアジアの目立たない小さな国に過ぎなかったが、K-P O P とドラマによって多くの人々が日本、中国と肩を並べられるぐらい重要な国として認識してくれるようになりました。そして韓国の文化と言語、食べ物等にも関心が集まっています。

韓国語を学ぼうとする人々やブルゴギ、ビビンパ等の料理が好きだと言う人も沢山増えました。韓国の文化、商品等のイメージが違和感なく受け入れられるようになり、経済効果も現れました。サムソン、L G, 現代等の大企業も韓流ブームによって貿易のチャンスが増え、国の経済力にも良い影響を与えています。

一方では、韓流を妬む周辺国による嫌韓、反韓の感情が出て来ているのも事実です。

振り替えてみれば日本で「チャングムの誓い」という題目で放送された「大長今」のような誇らしさを持って外国の友達に紹介できた作品もあれば、見るからにかねがせきの為に作られたような作品もあったと思います。

去年あたりから韓流ブームの人気ぶりがちょっと停滞気味でこれからが正念場だと言われています。韓流ブームから 10 年余り過ぎた今、試行錯誤もいっぱい経験したからこそ世界の人々の好みに合わせ過ぎるのではなく韓国らしいものを誇らしさを持って勝負に出たいと思います。

また、韓流文化を接した人が実際の韓国を見たくなくなっている時色々な体験ができるよう、細かな心配りが必要だと思います。宿泊施設、観光地を充実させなければならないと思うし、国民意識もしっかり持つべきだと思います。

これで私の発表を終わらせて頂きます。本当にありがとうございました。

君に近付きたい

高等部 조시은 (趙時恩, Jo Si Eun)

こんにちは、私はヨンイン外国語高校のチョシウンと申します。

皆さんは誰か、もしくは何かに近付きたいと思ったことがありますか？恋をする人は好きな人に近付きたいと思います。初めて来たばかりの転校生はクラスのみんなに近付きたいと思います。こうして誰もが自分より遠い何かに近付きたいと思うように、私の夢は「日本」に近づくことです。

日本は遠いです。現在は技術が発達して飛行機で行けば最低四十分で着けますが、今よりずっと昔は遠かったです。物理的距離だけではなく、心理的、或いは文化的距離も遠かったです。お互い交流はありましたが、これといった交流はほぼ見つからず、1404年になってからようやく「朝鮮通信士」という名前で公式的な交流をするようになりました。この「朝鮮通信士」は初めからいい意図で日本を訪れた訳ではありません。侵略を塞いだり、日本に捕らわれている虜達を取り戻したりなどが日本に行った主な理由ですが、1600年代になってからは幕府の将軍の就任を祝うための朝鮮通信士となりました。

こうしてみると朝鮮通信士は「日本に近づくため」の存在だったとも言えます。四面が海で囲まれている不思議の島。時々我が国の国民を害する厄介な奴等、だけど何者かも分からずにはいられない、日本を知ることで国民達を安心させることも出来る、というのが我が先祖達の考えではなかったのでしょうか。

今、私はその先祖達の意志を受け取りたいと思います。日本をより勉強し、日本に住みながら日本を知って、日本と韓国の間生まれた誤解と偏見を解きたいと思うのです。日本語を勉強し始めた小学四年の頃から、周りの人々から聞き飽きた言葉を数えると両手で足りないほどです。“何で日本語なんかを学ぶの？”、“日本語なんか勉強して将来何になろうと思ってるの？”など、他にも口に出来ない程の言葉を聞いてきました。最も悲しいのは、自分を否定されるだけでなく、日本語を学ぶ学生達でさえもあまり自信を持たず、他の人々に無視されるがままでいることでした。

今まで韓国人が知って来たものを考えると「日本」という国が近く感じれるはずがないかもしれません。まず、歴史上の日本は決して好意的な国ではないことは確実です。また、韓国に知られている日本の文化はアニメや成人物など極一部に過ぎないです。正に「知っている分だけ見える」ということわざに違いないです。これを「勿体無い」と思うのは日本語を、つまり日本を勉強した人でしか分からないのです。

「日本に近づきたい」という言葉はただ単に日本へ行きたい、日本と親しくなりたい、という意味だけではありません。日本を正しく知って、私達が日本にどんな誤解をしているか、そして日本も韓国にどんな偏見を抱いているのか、それを知り、分かち合うことで、日韓はより協力的に発展できると思います。今まで多くの人がこのことを認識し、頑張りましたがまだまだ日本が遠く感じる理由は、きっと「日本に近づくこと」が簡単なことではないからに違いません。私が望んだところですが何かが変わるとは限りませんが、両国を繋ぐ橋になって、いつか日本という国が我々の未来で欠かせないのだと知る機会を作りたいです。

皆さんも周りに日本語を学ぶ、或いは学びたいという人がいたら、ぜひ励ましていただけると嬉しいです。その学生達もきっと私のように「日本に近づきたい」と思っているかもしれません。ご視聴ありがとうございました。

未来学について

高等部 조송희 (趙頌熙, Jo Song Hee)

皆さんおはようございます。これから「未来学」という主題で発表させていただきます、趙頌熙と申します。よろしくお願いいたします。

人類は常に「未来」に憧れています。未来というのは誰も知らない、未知の世界です。何が起こるかわからないからこそ、そこには無限の可能性が存在し、人類はその可能性に希望を抱くのです。10年後、100年後の世界はどんな風なんだろう、誰でもそんな疑問を抱いたことはあるはずです。

残念ながら人類は未来を見ることも、知ることもできません。それでも、その「未来」に興味を持ち、「未来」を研究する学問があります。それが「未来学」です。

未来学は未来を予言する学問ではなく、予測する学問です。未来学というのは今までの歴史の中で起こったことに基いて、今後世界がどう変わっていくかを詳細に調査、そして推論する科学的学問です。未来学では今まで各分野で起きたあらゆることの傾向を分析し、将来その分野がどう変わっていくかを予測します。つまり、未来学を研究する未来学者は経済、環境、政治、科学技術などの広範囲に亘る分野において、多様な知識を持ち合わせていなければなりません。もちろん、未来のことを予測するには相当の洞察力も必要とされるでしょう。

では、未来学は一体何を目標としているのでしょうか。未来学は単に10年、100年先の未来を予測することでは終わりません。未来学の究極的な目標は、数多い未来とその未来に起こるかもしれない様々な出来事を提案し、その未来へと進むために、もしくはその未来を避けるために私達がすべきことについて研究することにあります。

例えば2012年、英国の未来学者スティーブン・ベックスターが予測した「100年後の世界」のことが記事になりました。彼の予測によると、100年後、人類は化石燃料の使用を中断し、代替資源である太陽エネルギーを中心に使うこととなります。使い切った化石燃料の代わりに、宇宙からも資源を採掘できるようになるらしいです。100年後、地球の海水面は今よりもっと上昇し、それによって海岸側に位置する都市の大部分はベニスのように水に沈んでしまうそうです。より効果的に太陽エネルギーが使える方法、海水面の上昇に対する対策、それは私達が今から考えるべき課題です。

未来学の最大の特徴は研究結果を実証できないことにあります。ご存知の通り、未来学は誰も知らない未来を研究する学問です。だから実際その時になるまで研究結果を実証することは不可能です。導いた結果が正しいかどうかはわからない、ということになります。と言って、未来学は成果のない、無駄な学問ではありません。なぜなら未来学は複数の「未来」を参考にしてもっともよい「未来」を築こうとする学問だからです。だからある意味、未来学は現代学とも言えるのです。これで私の発表を終わらせて頂きます。ご静聴ありがとうございました。

第二外国語の意義

高等部 이지성 (李地城, Lee Ji Seong)

こんにちは。一山大真高等学校のイ・ジソンと申します。

突然ですが、皆さんは第二外国語、言い換えれば、英語の次に学びたいと思うのはどの国の言葉ですか。またその動機は何でしょうか。

今日、私は第二外国語を選択するに当たっての韓国の現状と問題点についてお話ししたいと思います。

私たちの国、韓国では皆さんもご存じの通り、英語を学べる教育環境は良く整っていますが、それ以外の言語、例えば、日本語、フランス語、ドイツ語、アラビア語などは学ぶ場所を探すことすら一苦勞です。

ですが、興味深い話があります。2010年の就学能力試験の第二外国語選択の際に、日本語の受験者の2倍を超える人気の科目が、今お伝えした語学の中には入っています何語だと思われますか。何とアラビア語なのです。なぜでしょうか。答えは歴然としています。マイナーな言語であればあるほど、成績に換算すると相対的に高い点数を貰える可能性が高いからです。

それでは、改めて第二外国語の意義とは何でしょうか。それは、韓国の国民にとって、是非、コミュニケーションを通して、親密さをはかりたい国の言語を学ぶということではないでしょうか。英語は今やグローバル化の立役者としてコミュニケーションを避けて通るわけにはいきません。それでは、韓国が次にコミュニケーション相手として腹を割って率直に話す必要がある国はどこでしょうか。それはまさに隣国、日本ではないでしょうか。去年は領土問題があつて、それまで築いてきた文化交流まで一時ストップしてしまいました。政治関係で両国の人々との関係が崩れてしまったのです。その時、私は本当に残念に思いました。そして、そのわだかまりを個人間で解消できたならどんなに良いかをつくづく考えさせられました。そこで、改めて第二外国語の意義とその価値を認識したのです。一人でも多くの私たちのような学生が、北東アジアの中心国である日本と上手にコミュニケーションを取り、協力していくなら、アジアの力を世界中に知らしめることができます。そのために、韓国の第二外国語の教育方針は改められなければならないと思うのです。点数を取りやすい語学を安易に学ぶのではなく、本当に必要な人と真のコミュニケーションをはかれる第二外国語を学べば、まさに真の国際化になると思うのです。改めて皆さんにお尋ねします。あなたはどの第二外国語を学びたいですか。それはきっと、あなたに海を越えた素敵な親友を与えてくれることになるでしょう。

最後までご清聴頂きありがとうございました。

私の日本語を習っている理由

高等部 함현주 (咸炫周, Ham Hyeon Ju)

みなさん、こんにちは。江原外国語高校、二年の咸炫周と申します。

佐藤さん、ご無沙汰しています。私たちが出会った日からもう四年経ちましたが、お元気ですか。

あの時、日帝強制占領期間、日本に連行され亡くなった韓国人のために石碑を建てる計画だとおっしゃいましたね。送ってくださった写真でその誇らしい石碑を拝見することができました。

今日は石碑建立のお祝いと私の近況を知らせたく、手紙を書きました。

実は私、今まで韓日関係を一度も真剣に考えたことがありませんでした。そんな私が初めて歴史を習ったときの衝撃、いや怒り、佐藤さんならきっと分かってくさるでしょう。

特に慰安婦のことは衝撃的でした。未だ日本からの謝罪がなく、被害者の方たちが週一回、大使館前でデモをされているなんて。何があっても加害者たちを探し出し、日本国内に公表してやる、と決心しました。

しかしそんな私をまるで叱るようなことがおきました。二年前、日本で大地震が起こった時、韓国でどんなことがあったかご存知ですか。その日は初めてデモを休み、日本の為に、もうこれ以上罪のない人々が命を失わないように、祈っていらっしやいました。

最初はその行動が理解できず呆然としました。私たちに苦しみを与え、自分は幸せに過ごしていた人々、その人々の為の祈り。先生はどうお考えになりますか。同じように出来ますか。まだ若い私は、私だったら絶対出来ないだろう、と思います。

それでも、今は少しその方たちの心が理解できそうです。私はどうして痛みを痛みで返そうと思っていたのか。

加害者が不幸になれば被害者の方々は喜ぶのだろうか。いや、そうではない。被害者の方は自分の苦しみを返したくてデモをしていたわけではないのですから。

ただもう二度とそんなことが起きないよう確信を得たかったのです。ただ加害者を憎んでばかりだった私はとても恥ずかしくなりました。

私の決心は変わりました。日本人は日帝強制占領期間について無知だ、と前におっしゃいましたよね。

日本について変な偏見を持っていたり、歴史をきちんと知らない韓国人も大勢います。お互いを知らないままで、どうやって歴史問題を乗り越え、前進することができるのでしょうか。

私は日本と韓国がお互いを理解しあう機会を作りたいと考えています。

それが私の日本語を習っている理由、また佐藤さんにお伝えしたかった私の信念です。

佐藤さんは日帝強制占領期間について学び、それが正しくないと認められました。

私はほかの日本人もきっとそうするだろうと思っています。真実を知れば、それを受け入れられる心を持っている人々だと信じています。

韓国と日本、両国の希望を信じています。両国は手を取り合い、きっと前に進めると思います。佐藤さん、またお会いできる日を楽しみにしています。それまでお体に気をつけてお過ごしください。今日はこのへんで失礼します。

—感謝の気持ちをこめて、咸炫周より。

日本語との出会い

高等部 임상혁 (林尚奕, Im Sang Hyeok)

皆さん、こんにちは。石串(ソッカ)高等学校のイム・サンヒョクです。

早速ですが、今日は私にとっての最高の出会いについてお話しさせて頂きたいと思います。それは、日本語との出会いです。ある人との出会いが、自分の人生を大きく変えてくれるように、日本語は私のそれまでの人生を大きく変えてくれることになりました。そのいきさつをお話ししましょう。

私は小中学生の時から特になりたい職業も夢もなかったため、公務員の父の勧めによって「公務員になろう」と考えていました。そこで、中学3年生から公務員試験の中でも一番難しいと言われている試験準備のため、英語を死にものぐるいで勉強しました。そして、その気分転換に日本語をも学び始めたのです。

すると、その何気なく始めた日本語との出会いが、次々と自分では気付かなかった可能性や夢を引き出してくれたのです。それに気づいたときは、まるで、山登りで山頂の景色を見た時の様でした。日本語学習のために地道に一步一步進んだ先には、これまでに見たことのない美しい景色とどこまでも続く道が見え、私の視野を広げてくれたのでした。

勿論、日本語の勉強が、私にとって簡単だったわけではなく、私に才能があったわけではありません。ですが、日本語の勉強は確かに英語の勉強とは違いました。英語のような机上だけの勉強方法ではなかったのです。気分転換で始めた言語だったため、ドラマ鑑賞、音楽鑑賞をしながらその中で気に入ったセリフや歌詞を覚えて、声に出して練習しました。そのような中、日本語の勉強を続けるにつれて、流ちょうになる自分の成長も楽しかったのですが、日本語を通して、何よりも日本人が、そして日本そのものが好きになっていったのは驚きであり、大きな喜びでした。そしてその気持ちは今まで何に対しても特別、意欲のなかった私に「誰よりも上手に日本語が話せるようになりたい」という強い意欲まで持たせてくれたのです。

日本語が与えてくれた宝物はそれだけではありません。その出会いの延長線上に私の夢が見つかったのです。私は将来、日本にある韓国の大使館や領事館で働きたいのです。海外生活をしている韓国人は多くいます。とかく日本には多くいることでしょう。隣国である日本はまだ、近くて遠い国である気がするは事実です。ですから、私は、日本に住んで不便や偏見を感じたり、困ったりしている自国民の人々に自分の立場を利用し、日本のそして日本人の素晴らしさを少しずつでも伝えていきたいのです。残念ながら、実現できるかどうかは正直自信がありません。ですが、今、こうして皆さんに話したことを励みにこれからも日本語としっかり向き合っていきたいと思います。

ご清聴有難うございました。

日本語が導いてくれた未来

高等部 이경현 (李景鉉, Lee Gyeong Hyeon)

皆さん、こんにちは。私は九一高校三年のイ・ギョンヒョンと申します。今日はこれから私にとっての日本語についてお話ししたいと思います。

中学一年生の当時、私はやりたいことが見つからず、また将来どんな職業に就くべきかも決められず、ただ、何となく勉強に打ち込んでいました。

そんな時、ふと目に付いたのが家の本棚の片隅に置いてあった日本語の教材でした。その本は以前も一度手に取ったことはありますが、その時はただパラパラと頁をめくってみただけでした。ですが、今回は違いました。この二度目のこの本との出会いが私の人生を大きく変えたのでした。

私は、最初、その本を半ば暇つぶしで読んでいました。ところが、読み進めていくうちに、日本語が今まで苦労して学んできた英語とは全く違う魅力的な言語であることに気が付きました。ひらがな、カタカナ、漢字と言う日本独自の文字表記をし、それを上手に使いわけることで、目で文章の強弱をつける繊細さや、韓国語とほぼ同じ文法の並び、そして何より発音の美しさが私の心を引き付けました。そこで、私はその日から日本語に夢中になり、熱心に学ぶようになりました。

勿論、挫折しそうになったことが何度もありました。聴解が思うように理解できずに、がっかりしたり、多くの単語や文法を覚えたにもかかわらず作文にてこずり自分には日本語は向いてないのかと思悩んだこともありました。ですが、その度に思い出したことは、日本語の美しさを発見した時のあの感動でした。

日本語は、さらに私に大きな喜びを与えてくれました。それはこの外国語が私の将来の道しるべとなってくれたのです。言い換えれば、日本語が私の将来を教えてくれたのです。

実は、私は日本語を学ぶ前は、日本に全く関心がなくそれと同時にほとんど無知でした。学校の教科書に載せられている情報だけが私の日本観だったのです。ところが、日本語を通して日本を見ることにより、日本には韓国文化にはない素晴らしいものがたくさんあることを知ることができました。そしてこの経験を通して、言語とはその国の文化、歴史、人々の思考方式、そしてアイデンティティまでを明らかにする興味深い学問だということがわかったのです。それで、私は日本語の学びを通して他の外国語も学び、ゆくゆくは世界中の言語を学ぶ言語学のエキスパートになりたいという夢を持つことができるようになったのです。

皆さんも、きっと将来の夢をまだ決められないという方もいらっしゃると思います。それでは、まずは自分が感動できるもの、また好きなものを見つけることから始めて見られるのはいかがでしょうか。もしかしたら、それがあなたを未来へと導いてくれるかもしれません。

ご清聴有難うございました。

「日本語から得た物」

高等部 정준 (鄭峻, Jeong Jun)

こんにちは。私はブندانデジン高校3年生のジョンジュンと申します。今回は「日本語から得た物」というタイトルでスピーチさせていただきます。

人は、ある事件を切っ掛けとして大きく変わることがしばしばあります。皆さんにも一つぐらいあると思いますが、私の場合、それは日本語でした。私は中学校2年生まで内気で後ろ向きな性格でした。当時、身長が平均より低かったということも理由の一つでしたが、他にも、ある芸能人と名前が似ているという理由で小学生のとき、他の子供たちにいじめられたためです。最初は起こったり、怒鳴ったりしていましたが、それでも私はからかわれ続けました。私は段々疲れて、結局、口も重くなり、いつも否定的な思いを持ち、そしてそんな自分に対して自己嫌悪に陥りました。

ですが、私は日本語を学んだことを切っ掛けに、少しずつ変わりました。中学校2年生のとき、ある映画の音楽を聴いたことで、私は日本語に興味を持つようになりました。聴いても理解できない歌詞でしたが、なんとなくそのメロディが好きになって、どうしてもその意味を知りたくなったのです。それで、聞こえたとおりにノートに歌詞を書き写して辞書で調べたり、歌詞を覚えるくらい何度も聴いたりしました。それがとても面白くなって、独学で日本語を学ぶようになりました。そして、日本語を学んでいくと共に、私は色々なことを得るようになりました。人間関係が広がったことや物事を慎重に考えるようになったこともその一部ですが、私にとって意味深いことが二つあります。

一つ目は、前へと進む姿勢です。日本語を学ぶ前の私は、いつも受動的な姿勢を取っていました。変化を恐れ、相手が自分へ近づくのを待つばかりでした。ですが、私は日本語を学ぶことお楽しみながら、変化は楽しみの始まりということに気づきました。変化を肯定的に考えるようになったことによって、私は以前よりもっと挑戦し、もっと楽しくて充実した日々を送るようになりました。この変化がなかったら、私は皆さんの前でスピーチをすることも無かったでしょう。

日本語が私にくれたものの二つ目は、夢です。日本語を学ぶ前の私は、大きくなって偉い人になったら良いな、という漠然とした考えしかありませんでした。大人になっていい家に住みたい。美味しい物をたくさん食べたい。という漠然な夢はありましたが、それを叶えるための計画も、どんな勉強をするかも、何もかも考えていなかったのです。ですが、日本語を学ぶうちに、日本と韓国、両国に関係した仕事がしたいという夢を抱き、今は将来、何をしたいかもしっかり考えるようになりました。

この二つは、日本語が私に教えてくれたとても大事なものです。きっと今後も人生の中で、苦しいことや耐え辛いこともたくさん経験すると思います。ですが、この二つの言葉を忘れずに前向きに努力し続けることでその逆境も乗り越えられると思います。現在、人間関係やコンプレックス、または家庭のことで悩み、苦しい思いをしている学生は世界中に数多くいるでしょう。そのような人達に私が言いたいのは、何でも良いから何か自分が興味を持てることを追求してみよう、ということです。そうすれば、他人と比べてちっぴけに思われた自分のことを尊く感じられるようになり、将来やりたいことも見つかると思います。私が日本語を勉強を通じて得たことのように、皆さんも人生が変わる切っ掛けを手に入れてほしいと思います。ご清聴ありがとうございました。

日本の魅力をご存知ですか。

高等部 김재희 (金載熙, Kim Jae Hee)

皆さんは、外国を知るのに何が一番良い方法だと思いますか。本を読む？ネットで探す？人に聞く？でしょうか。私がお勧めする一番の方法は実際に旅行に行ってみる、とすることです。今日は、私の三回の日本旅行を通して感じた日本の魅力のいくつかをご紹介しますと思います。

私の旅行スタイルは「シンプルイズベスト」です。家族みんなでそれぞれリュックを背負い、少しひなびた温泉付きの旅館に泊まるのです。旅行ではその土地の美味しいものを食べることも醍醐味ですが、私が日本旅行をして一番魅力に感じることは、まさにそこに住む人々、日本人そのものです。

皆さんは日本人に対してどんなイメージをお持ちでしょうか。もしかしたら、日本のジャニーズが好きで思わず顔がほころぶ人、領土問題や歴史問題で顔をしかめる人など色々かもしれません。では、どうぞこれから私が話すいくつかのエピソードの後にもう一度、日本人について考えてみてください。きっとニコリ笑ってもらえると思います。

旅行は移動の連続です。電車、バスが主流ですが、その国独自の交通ルールがあるため、外国人にはとりわけ難しいと感じる瞬間かもしれません。私もその度に色々トラブルを経験しました。私はもう三度も日本に旅行していますが、毎回、どの旅行でもどの電車に乗るのか、何番のバスに乗るのかなどまるで迷子の子供の様におどおどする典型的な観光客です。

そんな私たちを救ってくれたのが、日本人の優しさでした。彼らはまるで聞いてくれるのを待っていました、とばかりに本当に丁寧に教えてくれました。大抵は観光地までの道順だけを聞くのですが、ある日本人のお祖父さんは直接その場所まで連れて行ってくれたり、またある女性はその場所の穴場スポットまで教えてくれるのです。毎回のそのような出会いに家族全員が感動し、その度に日本人が大好きになりました。

日本旅行で見つけた日本の魅力の別な点は言葉です。日本人はあまり意識しないようですが、その独特なイントネーションや誰に対しても丁寧な言葉遣いは私たちにとって本当に快いものです。お店に入るとすぐに誰もが「いらっしゃいませ」と飛び切りの笑顔で迎えてくれます。店内を一周し、何も買わずに出ていくときも「有難うございました」と言ってくれます。その言い回しはまるで「このお店に立ち寄ってくただけで感謝です」と言ってくれているように心がこもっているのです。ある時私が、友人へのお土産として、小さなストラップを買った時のことです。私は韓国式で、それをそのまま受け取ろうとしましたが、お店の人はそれが友人へのプレゼントだと分かって、きれいな包み紙に丁寧にラッピングしてくれて、「お友達が喜んでくれると良いですね」とにっこり笑ってくれました。私はその時も日本人の細やかな気遣いや思いやりを深く感動しました。

このような日本人の魅力が私の心の中でどのように成長したと思われますか。私はこの類まれな日本人気質を心から愛し見倣いたいと思うようになってきました。そしてその精神をこのソウルで発揮したいと思うようになりました。ソウルも有名な観光都市です。多くの観光客が訪れています。私も時にはそれら観光客に道を尋ねられたり、話しかけられることもあります。そのような時、ふと私の脳裏に浮かぶのは日本人のあの笑顔、あの話し方、あの物腰の柔らかさです。

皆さんにこうしてお話ししていたら、何だかまた日本が恋しくなりました。4回目の日本旅行を計画したくなりました。良かったら、是非一緒に行きませんか。もしかしたら、私が気付かなかった日本人の魅力をあなたが発見できるかもしれません。ご清聴ありがとうございました。

一本の糸

高等部 홍소운 (洪韶漣, Hong So Un)

皆様、始めまして。私は大田田民高校のホン・ソウンと申します。どうぞよろしくお願い致します。突然ですが、皆様は釣りが好きですか。釣りをすると、たまに釣り糸がもつれてしまう時ってありますね。ある日、私は父と一緒に釣りをしに行きましたが、途中で釣り糸があまりにも酷くもつれてしまって、むりやり引っ張りながら切ろうとしました。すると、父が私の手を止めさせてゆっくりその糸をほどいてくれました。どうやってそう簡単にほどいたのと聞くと、父はほほえみながら「この糸が一本であることだけを覚えている」と言いました。その言葉はそれ以来、私の脳裏に焼きつきました。

その後、なんらかの悩み事が出来ると、よく父親の言葉を思い出します。我々の社会問題もこの方法で解決できると思います。少し話が重くなるかもしれませんが、韓国の南北問題もその一つではないでしょうか。

我が国は、地球上唯一の分断国家とされています。1950年の韓国戦争の勃発以来、南と北のそれぞれの国はもつれた釣り糸のような状態にあります。6.15共同宣言など和解の雰囲気も一時ありましたが、天安艦沈没や延坪島砲撃など一発触発の状況もありました。もつれた糸が緩んだり、固くもつれたりとを繰り返しているのです。それから60年あまりの年月が経ちました。なのに、統一の兆しは全く見えません。政権が変わるたび、政治的・経済的な利害関係で各自の立場だけを固守し、意地を張ろうとしているからです。この状態だと、糸のもつれた所は擦り切れてしまうかもしれません。今日も私は新聞で北朝鮮の核問題を巡って六者会談をするという記事を読みました。新しい政府に変わってからというもの、南北関係はふたたび凍結しました。

ここで私は、父が教えてくれたもつれた糸のほどき方を思い出します。釣り糸は元々一本であることを。糸のもつれをほどくためには、自分の意見だけを押し立てるより、相手の意見を尊重しながら余裕を持ち、譲り合おうとする姿勢が何より必要ではないかと思います。譲りと余裕がないかぎり、もつれたところは解けるはずがないからです。両方ともお互いの利害関係を超え、配慮しなければなりません。

世間の人たちの多くはこう言います。「争いながら馴染んで成長していくのだよ」って。しかし、その争いが極端的になり、そのまま終わってしまえば、我々にはこれ以上の成長も、発展もないはずです。もう互いの糸を握った手の力を抜く時です。もつれるのは一瞬ですが、そのもつれたところをほどくにはあまりにも長い時間がかかるからです。

これと同じく、韓日関係ももつれたり、ほどけたりの繰り返しですが、これもまた一筋縄ではいかないと思います。国によって色々な考え方や主張があり難しい問題が多いと思いますが、私は韓日のかけ橋となりお互いの国と国とが手と手をつなぐような職業に就きたいと思います。そのために毎日猛勉強です。

最後までお聞きいただきましてありがとうございました。

ボランティアからのプレゼント

高等部 서하영 (徐夏泳, Seo Ha Yeong)

皆さんこんにちは。私はキョンギ女子高校のソ・ハヨンと申します。

私は高校二年生のときからしていることがあります。それは韓国で一番観光客の多い明洞駅での通訳のボランティアです。私は以前から学んでいる日本語を生かして、見知らぬ土地で困っている方々にこちらから声をかけて案内するボランティアをしているのです。

このボランティアは、4時間ずっと立ち続けるため、天気の悪い日や少し疲れている時には大変だと感じる時があります。それでも、その時に会うたった一人の方との出会いがその疲れを吹き飛ばしてくれる位の力があるのです。その威力を是非、皆さんに聞いて頂きたいです。

ボランティアをしていると色々な出会いがあります。韓国の歌手のコンサート会場の行き方を聞かれる方、ドラマの撮影現場を訪れたいという方、友人同士でショッピングを楽しんでいるという方、話が弾んで、自分の住んでいる土地の写真を見せてくれる方、私の日本語をほめて下さる方、助けてくれた記念にと、一緒に記念写真を撮ってくれる方など、この一年だけでも本当に色々な方との出会いを楽しめました。

今日はその中でも、とりわけ思い出に残っている二組の日本人の方との出会いをお話しします。

ある日、いつもの通り明洞の地下鉄の改札の近くになっていると、60代くらいの日本人の女性たちが切符売り場で困っているようでした。そこで、すぐに声をかけ、いつものように発券を手伝ったところ、思いがけないことが起こったのです。何とその中の一人の女性が「あなたがこうしてくれて、本当に助かったわ。私は京都に住んでいますが、もし京都に来るときには必ず連絡くださいね」と言って、私に住所を教えてくれたのです。私は最初、驚きましたが、すぐに、感謝の気持ちでいっぱいになりました。私がした小さな親切にこのような形でお礼を言われたのが初めてだったからです。私は改めてこのボランティアと言う仕事の素晴らしさを感じました。

また別のある日、年配のご夫婦に声をかけ、地下鉄の乗り替えの説明と利用方法について説明したところ「あなたがここにいてくれる日に私たちがソウルに来て本当に幸運でしたよ。こんなに丁寧に説明してくれて感激しました。」と言って日本のお菓子をお土産にくれたのです。私はこの時も日本人の方が何て感謝に厚く、礼儀正しいのかということに深く感動したのです。

このようにボランティアは決して一方通行の関係ではありません。ボランティアを受ける側は勿論、する側にも幸福感な満足感やそして達成感を与えてくれるのです。そしてこれらは皆ボランティアから私へのかけがえのないプレゼントとなりました。

これからも自分の日本語に磨きをかけ、より多くの方の助けとなり、お互いが心の底から笑顔になれるボランティアを続けていきたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。

笑顔の力

高等部 김지희 (金智熙, Kim Ji Hee)

皆さんこんにちは。首道女子高校のキム・ジヒと申します。

突然ですが、皆さんは一日に何回笑いますか。1回、3回、それとも10回でしょうか。これから私がお話しするある少女の話を書いていただければ、きっと皆さんの笑顔が今よりずっと増えると思います。

誰よりも元気で明るい一人の少女がいました。ところが中学校の入学式の日、その少女の生活が一変してしまっただけです。彼女は式の途中で突然倒れ、それ以来、薬が手放せない体になりました。うっかり忘れると何の前触れもなく、醜い姿で倒れてしまうのです。少女は自分を取り巻く同情の目や奇異の目、そして将来に対する不安から、自分が悲惨に思えて、少しずつ消極的になり、内向的になり、やがて深刻なうつ病にかかるまでになってしまいました。

そんなある日、何気なく見た昔のアルバムを見て、少女はハッとしました。アルバムの中の自分の無邪気な笑顔と今の自分があまりにも違っていたからです。病気のためとはいえ、昔の輝くような笑顔を失うのを恐れたその少女はそこから笑顔を取り戻す決意をしたのです。そして、その日以来、彼女の静かな戦いが始まりました。笑顔になるにはどうしたら良かったのかそれすらも忘れていた彼女は、まず、何か嫌なことがあっても「大丈夫、きっと何とかなる」と自分に言い聞かせるようになりました。そして、それはやがて少女のモットーになり、どんな時も物事を積極的に見ることでできる強さになりました。すると、自然と笑顔が出るようになったのです。笑顔で見る世の中の景色は不思議なくらい辛かった時の景色とは違うことに少女は気付きました。そこで、彼女は次のように誓ったのです。「私は誰よりも体が弱いかもしれない。でもこの笑顔を武器に精神力だけは誰よりも強くなるう」

驚くことにそれからの少女は倒れる頻度がめっきり減り、いつの間にか一度も倒れずに過ごせる日が半年以上続くようになったのです。その後の彼女はどのようにしていると思いますか。驚かないでください。その少女は、今、皆さんの前に立っています。こうして大勢の前で物おじせず、自分の経験をはなすスピーチ大会に出席できるまで強くたくましくなったのです。

私は今年、まだ一度も倒れていません。私はこの一連の出来事が笑顔の力だと信じています。そして、人間の体は良くできていて、どんな大変な時も心が笑顔で「大丈夫」と言えば、身体も「そうだね、これぐらいでは倒れてられないね」と反応すると確信しています。

笑顔の力、すごいと思いませんか。私は私の未来を笑顔で変えることができました。きっと皆さんもそうできます。どうぞ、笑顔の力を信じて下さい。

ありがとうございました。

楽しい日本語の勉強

高等部 장수현 (張修賢, Jang Su Hyeon)

皆さん、こんにちは。私はスリ高校3年のジャンスヒョンと申します。今日のこのコンテストに参加できて本当に光栄です。今日は、私の大好きな日本語の勉強の話を聞いて頂きたいと思います。私は以前からアジアの中では日本に興味がありましたが、私が日本語を始めるときは本当に何気ないことからでした。中学二年生の時のある日、インターネットで偶然にNHKニュースを見ました。その時に「ああ、このニュースを字幕なしで理解できたら良いのに」と漠然と思ったのです。それが私の日本語勉強のスタートとなりました。当時の私は日本に住んだことは勿論、行ったこともなかったので、基本的なことからコツコツ始めなければなりませんでした。

例えば、日本語独特の三種類の文字、ひらがな、カタカナ、漢字を毎日計画した分だけ徹底的に覚えめました。文字を覚えるだけの単調な勉強のため、自分でも嫌になるかなと思いましたが、やってみると本当に楽しくてびっくりしました。また、文法が苦手だった私は毎日その日勉強した文法を使って日記を書くことにしました。それは私にとってかなり効果的な勉強方法だったと思います。次に考えたのは生きた日本語を学びたいということでした。そこで、私は日本人と文通をすることにしました。すると、それまで知らなかった表現、単語、熟語、ことわざ、慣用句などを学びました。それだけでなく、日本の文化、料理、ファッションなど私が以前から知りたかった日本の情報も得ることができました。そして、特に私にとって嬉しかったことは日本に友人ができたことでした。

このように日本語を勉強した私がいよいよ実戦訓練をする時が来ました。それは高校一年生の冬に母と二人で初めて日本旅行をしたときでした。母は出発前に「いよいよスヒョンが一生懸命勉強してきたことを試すことができるわね」と言って笑いました。実際に行ってみると思ったよりも日本人と自然に会話することができてとても感激しました。また、その旅行では、見聞きしていた日本の観光地を訪れ、日本料理を食べ、日本の伝統文化の一つである祭りに参加しました。

このように、勉強してきたことを自分が実際に体験できたことは何よりも楽しく、さらに日本語を学びたいという意欲がわく良い経験になりました。韓国に戻ってきた私は、こちらでも日本人と話すことが一番の勉強だと感じるようになり、通訳のボランティアをすることにしました。このボランティアは性別、年齢など様々な背景の日本人と話す機会となり、良い実践訓練となっています。

皆さんの中には、勉強が本当に単調でつまらないと感じている方もいるかもしれません。

ですが、少し工夫するだけで勉強をきっかけに色々な経験ができ、勉強自体に楽しさを感じる日が来ると思います。是非、どうすれば、もっと楽しく勉強できるか考えてみてください。きっと自分なりの楽しい勉強法が見つかると思います。有難うございました。

私の夢はドラマ作家です！

高等部 박서영 (朴瑞映, Park Seo Yeong)

パチパチパチ、この音は何の音だと思いますか。

パチパチパチ、これは私の家ではなじみの音です。

パチパチパチ、この音は私の尊敬する母が仕事をしているときの音です。

私の母は「LA アリラン」「負けてはいかん」などを書いた有名なドラマ作家です。パチパチパチ、と言う音はその母がキーボードを打っている音なのです。実は、私の父もテレビ局のプロデューサーです。父母ともに芸能界で活躍している両親を持っている私は一人で時間を過ごすことも多く、幼い時からさびしい思いを何度もしました。

そんなある日、私には飛び切り素敵な出会いがありました。それは、日本の「花より男子」というドラマとの出会いです。最初、私は主人公のかっこよさに魅かれ夢中になりましたが、ドラマを見ていくうちにストーリーや主題歌の歌詞を見ながら、そのまま日本語で分かったらどんなに良いだろうと思うようになりました。そこで、私は日本語を独学で学ぶ決意をしました。教材は私の大好きな日本ドラマと歌謡曲です。日本語が読めるようになるとドラマのセリフが、わかるようになり、「花より男子」の主人公が好きな女の子に言うセリフの意味が理解出来た時はまるで自分に告白されたかのように感動しました。

ところが、その後、思わぬことが起こりました。私がいかに熱心に日本のドラマや歌謡曲を見聞かしていたので、両親が心配し、私がか切りにしていた日本語のDVDや映像ファイルをすべて捨ててしまったのです。私は、その日、何度も両親に「日本語の勉強のためだ」と説明しましたが、理解してもらえず、そのことが悔しくて、目が腫れるまで泣きました。ですが、次の日気持ちを切り替えてコツコツと日本語の勉強を再開しました。どうしてだと思いますか。私は、その時まで何よりも日本のドラマが好きになり、日本語は勿論、日本の独特なストーリーや感性、俳優たちにひきつけられていたからです。

数年たったある時、家族四人で日本旅行に行ったときでした。両親は私が流暢に日本人と話す姿を見てすっかり感心し、私の日本語力を認めてくれるようになったのです。その後、母から思いがけない素晴らしいプレゼントをもらいました。何と、母のついで、私がか切りにしていた日本のアイドルグループの全員のサインを貰えたのです。これがそのサインです。ですが、その時更に思いがけない母からの一言がありました。それは「ソヨン、私は私の日本語力を生かして、いつか日本のドラマを書くわよ。あなたもそんなにドラマが好きだったら一生の仕事にしたらどう？」私は母の言葉を聞くや否や少しも迷うことなく、母と同じ道を歩むことを決意しました。韓国と日本のドラマ、どちらもそれぞれの魅力があります。そして、それを融合させた時、きっと両国の人がお互いの国の文化を知り、お互いに魅かれ合う素敵な関係になれると思うのです。

「花より男子」というドラマの主人公を演じた俳優名は松本潤です。そして、私の名前は朴瑞映です。もし、テレビで韓日共同の松本潤主演のドラマが放映されたら、是非作家の名前をチェックして下さい。きっと私の名前を見つけられるはずです。

ご清聴ありがとうございました。